

高松圏域自立支援協議会第3回就労支援部会

全体会 議事録

日 時：令和2年10月14日（水） 13：30～14：40

場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター2F 第1研修室

参加者：D0 やまびこ、くすがみ、ハローワーク高松、香川県障害者職業センター、高松市障がい福祉課、香川県立盲学校、ワイワイ創造館、サスケアカデミー川部みどり園、障害者就業・生活支援センターオリーブ、あじさい、ラ・レコルト高松瓦町ヒトコ、働く場開拓事業、基幹相談支援センター
障害者就業・生活支援センター共生、地域生活支援センターほっと、相談支援センターりゅううん、高等技術学校、竜雲あけぼの学園（リモート）、かがわ総合リハビリテーションセンター（順不同）

会議録（各委員会の報告）

○イベント委員会

「しごとサロンについて」

1. 当日の流れ

○受付での対応

・対応者3名配置。①検温、②密にならないように注意して受付に誘導し手指消毒、③受付対応をそれぞれ行う。

* 県外移動については、人口10万人当たりの感染者数一覧をインターネットから出力し、10万人当たり感染者1.5人以上の他県へ移動していないか確認し、移動していたら来場を断る。

・どれだけ滞在したか把握するために、アンケート用紙回収時に退出時間を記入していただく。等

○手土産について

・種類数や渡し方について検討した結果、今回は手土産の配布をやめることで意見がまとまった。等

○当日申込をせずに来られた方に対する対応（事前申込で定員に達した場合も）

・申込なしで当日来られた場合は、断る。相談があつて来られているので、パンフレットや資料を渡して対応する。そのためのマニュアルが必要。

・事前申込で定員に達した場合は、お断りする。等

○チラシの配布先

例年2,000部印刷していたが、1,000～1,500部にする。広報調査委員会から、各高校に送る資料に同封してもらう。例年通り、支援機関、行政関係に30部配布する。

○会場内の設営

・配置は案①（別紙）とする。机の距離、人との距離は取れている。

・卓上の飛沫防止パーテーションは、事前に貸し出し可能数を聞き、足りなければ購入する。

・相談が終わるごとに除菌する。各事業所から貸し出しできるスプレーボトル等は活用する。

2. チラシ案の確認

・表面の相談会に参加する機関のところに、事前申し込みの状況で相談機関が減る場合があると記載したらどうか。

・裏面の下部感染防止対策の最後の項目「下記にあてはまる方は事前にご相談ください」に加えて、状況によっては当日来場を断る場合がある旨を付け加えてはどうか。

・QRコードによる申し込みが可能か試行して、可能であれば申込書にQRコードを載せる。

3. 今後について

・次回の部会では、事前送付の参加票、当日アンケート、当日受付表について協議。

- ・チラシが完成したら、配布。
- ・医療機関の配布リスト、感染防止対策のための物品持ち出し調査票をメールで送る。

4. 情報共有

- ・高等技術学校より、委託訓練について
- ・リハビリセンターより、かがわ ICT テレワークネットについて

○広報調査委員会

1. 高校・大学プロジェクト

- (1) (高校送付資料確認) 香川県内の自立支援協議会と足並みを合わす。
- (2) 就労移行のパンフレット (冊子)・・・できれば、他圏域の就労移行の状況シートを差し込む。香川県内の全就労移行支援事業所として改訂予定(完成は未定)。→就労移行支援事業所等委員会の中で検討を図っていく。
- (3) 訪問する学校のリスト化・・・村上学園追加
- (4) 高等学校送付のための準備
 - ・9/14 県教育委員会に説明。10/6 高校長会・教頭会の会長に説明、了解された。
 - ・11/16 校長会にて説明。その後、公立高校については教育委員会を通して運送いただく。小豆島高校、私立高校は郵送する。1校に、全日制・定時制・通信あれば、3通同封する(鑑に同封物を明記)。
 - ・学校に郵送するに当たって、①学校に訪問して詳細を伝えてもいいかどうかの FAX 返信用書類を同封する(未)②学校での困りごとを調査するためのアンケート用紙(未)を同封するなどし、コーディネーターに答えていただけるよう配慮する(前回の方針)
 - ・郵送し、返信が返ってきた学校については、個別にケースを抱えている可能性があるため、障害者就業・生活支援センターと就労移行支援事業所とで訪問し、詳しく聴きにいく。
 - ・中学校や専門学校、大学など広域に配布してみてもどうか→中学生に対しては、夏に育成会主催で私立高校・特別支援学校を選択するにあたっての説明会を実施していて、そこで説明する、まずはそこから。
- (5) 前回の結論からの進捗
 - ・個別に学校のコーディネーターに伝えに行く。(未)
 - ・アンケートについては、広報委員会メンバーにメールで送信する。(未、内容再確認)
 - ・アンケートの集約は大体一か月ほど。(11/中旬発送までに済ませる)

2. アンケートについて

(1) 内容

- ・「障害者の就労に関して」であることを伝える。「就労について」を前面に押し出す。
- ・卒業するにあたって、障害受容できず、困っていた方がいたかどうか?
- ・就労支援サービスを知っていますか? 相談先ありますか?
- ・保護者、生徒からきく困りごとがあれば教えてください。そして、どう対応したか教えてください。
- ・福祉・労働関係機関と連携して送り出したことがありますか?その際、気づいたことがありますか。
- ・知りたい情報はありますか?手帳、学習障害知っていますか?
- ・QR コードから質問できるようにする、文書でも回答できるようにする。(2種類の返答ができるようにする)
- ・締め切りは12月中旬として、返信がまだの場合、電話にて確認していく。等

(2) 社会資源の準備

- ・高校3年生の職場実習・就労移行等の実習(今年のPPTをもとに確認)

- ・就業・生活支援センター等の関わり方について協議。
- ・かがわ ICT テレワークネット・・・チラシにて説明

(3) その他

- ・しごとサロンたかまつのチラシを同封する・・・公立高校をはずすかどうか未定。

○就労移行支援事業所等委員会

参加事業所：香川県立川部みどり園、ハローワーク高松、障害者就業・生活支援センターオリーブ、ラ・レコルト高松瓦町、サスケ・アカデミー高松、かがわ総合リハビリテーションセンター（順不同）

1. 上半期の進捗・課題

それぞれの事業所でコロナ禍での訓練課題、就職状況、就労定着支援、研修の取り組みなど

<ヒトトコ>

在宅訓練の課題→コロナ禍在宅訓練の利用者が急増したが、家だとサボりがちになってしまう。在宅訓練希望者は現在少人数である。

就職状況→今年度は8名就職。コロナの影響で就職が延期になるケースもあった。

研修→オンライン、職員間の勉強会など

<ラ・レコルト>

在宅訓練の課題→コロナ禍で在宅を行っていたが、現在は利用者0名。

就職状況→今年度は7名就職。

研修→オンライン、職員間の勉強会

(※質問：Web研修とは「どんな内容ですか？」→様々な資格習得の研修を受けている。)

<サスケ>

在宅訓練の課題→PCスキルが必要。実際やってみるとうまくいかないこともあった。

連絡（スカイプ、メールなど）がスムーズに取れないこともあった。

就職状況→今年度が1名就職。

研修→オンライン研修に参加。

<みどり園>

在宅訓練の課題→在宅訓練は行っていない。

就労定着支援→週の半分は行っている状況。

<かがわりハ>

就職状況→今年度は7名就職。（年間15名）

コロナ対策→10万人に対する感染者数1.5人以上の都道府県に外出した場合、2週間休んでもらうようにしている。

研修→アンガーマネージメントの研修を実施した。

<ハローワーク>

”テレワークがしたい”と希望して来られる方がいるが、現状厳しい。そういう希望のある人こそ就労移行につなげていきたい。

2. 就労移行支援ガイドブックの事例の内容を更新

- ・香川県内の情報集約していくことについての課題

⇒高松市圏域外の事業所も掲載する予定。

- ・完成時期は

⇒来年度の3月頃まで。

- ・ガイドブック編集チーム作成
- ・議題に上がった内容(前回の会議録参照)
⇒字が多い。事例に難病を追加する。カリキュラムがあった方が見やすいのではないかな。等

3. 在宅講演会をしてみてもどうか。各事業所の説明をオンライン上で流す。(職員向け)
4. 事例検討 高校卒業後就労経験なく、就労移行支援を利用している利用者について
(ラ・レコルト瓦町)

5. 未検討課題(前回協議)

- ・リモート会議を試験的に行なってみる方向となった。(事業所の中から参加できる職員も増えるかもしれないため。注意・・・リモート会議を行なう際は個人情報) 当会議のリモートでの試行(あくまで、会議参加職員以外)を考えたい事業所がありましたら、教えてください。内容的にはどれかでつなぐというのが難しいので、会議中全時間とさせていただきます。

6. 今後の就労移行支援事業所等委員会、全体会の日程・開催場所について

12/14(月) 13:30~14:30 就労支援部会イベント委員会、広報・調査委員会
リハセン第1,2研修室

12/15(火) 10:00~11:30 就労移行支援事業所等委員会 リハセン 第2研修室

1/25(月) 13:30~14:30 就労移行支援事業所等委員会 リハセン 第1研修室

2/ 8(月) 13:30~14:30 就労支援部会イベント委員会、広報・調査委員会
リハセン第1,2研修室

3/10(水) 13:00~17:00 部会全体会、委員会等 リハセン第1,2研修室

※3/10については、実施可否、内容を検討中です。

○A型検討委員会 議事録

参加事業所 : Do やまびこ、くすがみ、リール、ゆうちゃん弁当、ゆうちゃん亭、サンライン、サスケ設計工房、ジョイピース、相談支援センター あい、ぼだいじゅ(順不同)

1. 事業所(法人)概要説明(社会福祉法人 竜雲学園 ぼだいじゅ)

- ・法人が設立して55年を迎える。
- ・法然寺の住職が、知的障害児の施設を開設したことがスタート。
- ・児童⇒成人に成長された利用者様を受け入れる施設を綾川、仏生山に開設。
- ・一時期、北海道に酪農、農業実習のための施設があり、2か月交代で職員、利用者様が利用していた。(現在は北海道の福祉事業所に譲渡したため利用していない)
- ・障がい福祉サービスを中心に、高齢者福祉、相談支援事業など展開している。
- ・ぼだいじゅ(A型)の開設は、平成21年。運営12年目となる。
- ・平均月9万円の給与を(現員12名)お支払いしているが、平成27年度より赤字運営となっている。
- ・赤字運営の原因はうどん店の売上減であり、優秀な利用者様を毎年一般就労に送り出したことで、利用者様中心にうどん屋運営をしていたバランスが崩れ、職員配置を増やしたことや定休日を増やしたことなどが考えられる。

・今後A型事業としての役割、機能をどう果たしていくのが課題である。

2. 新型コロナウイルス対応、苦慮している支援について

- ・インフルエンザ予防接種はどうしているのか？ 職員または利用者に対し法人負担で実施している事業所もある。(医療証があれば利用者は無料か)
- ・ウィズくすがみで、来春で1ヶ所A型の開設を予定している。
- ・利用者より、業務に対するミーティングをしたい要望があるが、どう対応したらよいのだろうか。業務で行うと給与の発生や、皆が集まれる時間を確保することができない等の課題がある。余暇支援の際にフリートークのような形で実施してみてはどうか。
- ・利用者より県外に行きたい要望があるが、どうように対処されていますか。新型コロナ対策が理由であっても利用者の行動制限はできないのではないだろうか。

3. その他

- ・事業所見学は実施する予定だが、新型コロナウイルス感染状況等を考慮し判断いたします。【1/22 (金) 12:30～ Do やまびこ様 を予定しております】

●次回開催予定

【全体会】

令和2年12月14日(月) PM

場所：リハセン2F 研修室

【A型検討委員会】

令和3年1月22日(金) PM

場所：Do やまびこ